

(新)皇居外苑濠水環境改善事業(公共)

自然公園等事業(公共)10,717百万円の内数

自然環境局総務課
皇居外苑管理事務所

1. 事業の概要

皇居外苑の濠は、我が国の象徴的な空間を形成するとともに、江戸城の歴史的景観、都心の貴重な水辺空間などの様々な役割を果たしているが、近年、アオコの発生等水質の悪化が課題となっている。

これに対し、濠水浄化施設の運転、アオコの回収等の対策を講じているが、さらなる水質の改善が求められている状況である。

このため、平成21年度は、北の丸地区などの雨水と汚水の分流化を進めるとともに、水質改善計画を含む濠管理方針をとりまとめることとしている。

今後、本方針を踏まえ、浄化施設の機能改善、円滑な濠水循環の確保等を内容とした総合的な対策を実施し、水環境の改善を進める予定である。

平成22年度は、これらの対策の一環として、新たな浄化施設の設計を行うとともに、当面の利用が想定される既存浄化施設の補修、円滑な濠水循環の確保のための送水管、ポンプ等の改修を行うものである。

2. 事業計画

実施項目	H21	H22	H23~
皇居外苑濠管理方針検討・策定	策定		
濠水浄化施設増設	計画	設計	施工
既存浄化施設の補修		施工	
円滑な濠水循環の確保		施工	

3. 施策の効果

濠水の水質の改善を図ることで、皇居濠の持つ我が国の象徴的な空間の維持などの諸機能の維持に寄与する。

皇居外苑濠水環境改善事業

皇居外苑濠の水辺空間

- ・我が国のシンボル
- ・重要な憩いの場

< 現状 >

- ・水源を雨水に依存
- ・汚濁原因物質の流入 等

水環境の悪化



千鳥ヶ淵 (H20.7.1撮影)

関係部局と連携した水環境改善事業の実施

環境省

- H20～21 皇居外苑濠管理方針検討会の設置
管理方針の策定
- H21補正 既存浄化施設調査、北の丸地区雨水污水
配管改修等(3億円)
- H22 新浄化施設設計
既存浄化施設改修、濠水の循環確保
- H23～ 新浄化施設施工
濠水の循環確保(送水管、水門改修等) 等

国土交通省、東京都等

- ・下水道越流水の濠への流入停止
(～H27:予定)
- ・雨水活用、補給水確保での連携

皇居外苑濠水環境の改善